

解 説


回顧企画 品質工学会 10周年記念品質工学大討論会

来 賓 祝 辞

Congratulatory Address by Guest Speaker
 — Retrospective Presentation from the 10th Anniversary Lecture of RQES —

田口 伸

Sbin Taguchi

2002年11月22日（金）、東京ビッグサイト7階国際会議場で品質工学会10周年記念講演が行われた。本稿はこの時のASI社長の田口伸による来賓挨拶について、動画画像の音声から編集したものである。なお当日のプログラムを以下に記す。連続パネル討論は登壇者が多数登場するので氏名を割愛しているが、プログラムを見ただけで勢いが感じられる内容である。

- 10:00 開会 司会 土屋元彦（富士ゼロックス(株)）
 開会挨拶 品質工学会会長 紙本治男（(株)リコー）
 来賓挨拶 経済産業省技術環境局審議官 佐藤哲哉
 American Supplier Institute 田口 伸
 報 告 「田口賞の創設について」 審査部会 吉澤正孝
- 10:30 基調講演「日本を救う技術課題の解決」 名誉会長 田口玄一
- 11:00 プレゼンテーション：品質工学入門
 「品質工学をいかに理解したか」 芝野広志（ミノルタ(株)）
 「品質工学をいかに活用したか—何が変わったのか—」
 小野元久（宮城教育大学）、小池昌義（(独)産業技術総合研究所）、
 堀 信夫（(株)山城精機製作所）、中山勝之（滋賀産業支援プラザ）
- 13:00 連続パネル討論「技術課題をいかに解決するか」
 (1)技術開発としての品質工学（製品開発から技術開発へ）
 (2)品質工学で生産革命（オフラインからオンラインへの展開）
 (3)企業と人の健康を読む（MTシステム：予測のための評価尺度）
 (4)試作レスの設計・技術手段の評価（21世紀SN比の活用）
- 16:30 まとめのコメント：名誉会長 田口玄一
 閉会挨拶 実行委員長 岩崎浩一郎（ライオンエンジニアリング(株)）

ASIの田口です。ご紹介にあったように、米国ミシガン州で品質工学の推進を進めている者です。今回、私の20年来のボスであり先生であるYuin Wu氏、日本語読みで呉玉印さんが急きよ来られなくなりまして、私が代わりに挨拶をさせていただきます。

品質工学フォーラムも10周年を迎え会員の数も伸びているということで、関係者の方々にまずおめでとうといいたいと思います。なぜこれだけ盛況になったのかということをおなりに考えてみまして、三つ挙げたいと思います。その一つ目は、私の父親の